

共用プール建屋廃液移送系タンク・配管確認結果

2020年2月20日



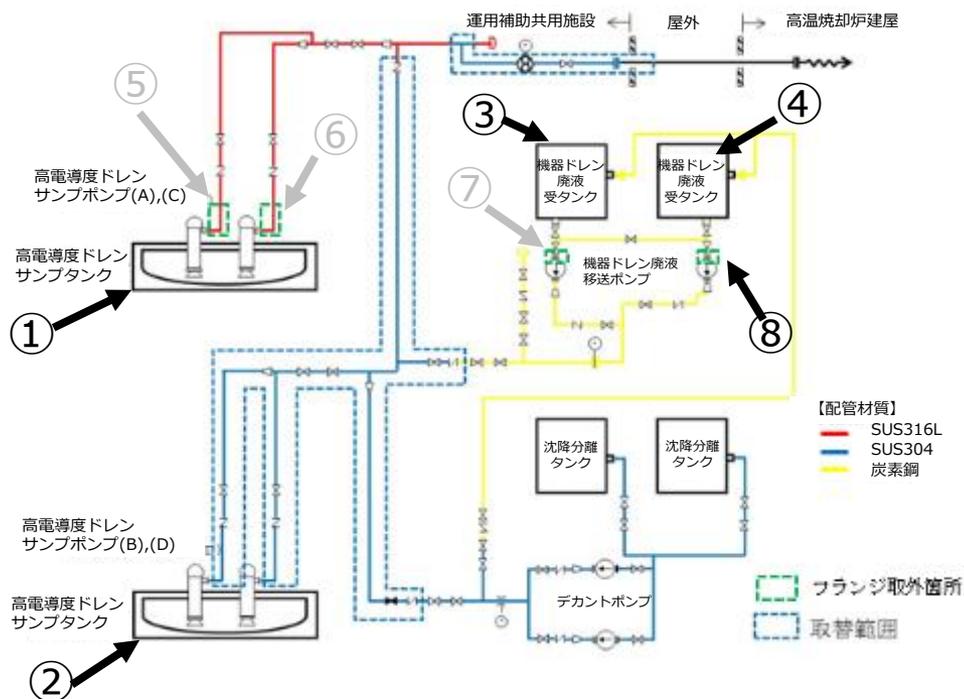
東京電力ホールディングス株式会社

1. 概要

- 共用プール建屋廃液移送系は、東北地方太平洋沖地震時に共用プール建屋に流入した海水の移送に使用。
- 上記により一部配管で腐食・漏えいが発生したため、当該配管については取替を実施。
- 前回(2019.07)、海水を内包した機器の腐食発生状況確認のため、確認できる範囲において目視による内面確認を行い、問題ないことを確認した。
- 今回、更なる健全性確認のため、対象タンク溶接部のP T及び配管(取替対象外)の肉厚測定を実施した。

機器	材質	今回実施内容
① 高電導度ドレンサンプタンク(A)	SUS316L	内部溶接線に対し、P Tを実施
② 高電導度ドレンサンプタンク(B)	SUS304	
③,④ 機器ドレン廃液受タンク(A),(B)		
⑤,⑥ 高電導度ドレンサンプタンク移送ライン	SUS316L	-
⑦,⑧ 機器ドレン廃液受タンク移送ライン	炭素鋼	配管の肉厚測定を実施※

※2019.7に実施した配管内部確認において、機器ドレン廃液移送ポンプ(B)入口配管(⑧)にのみ腐食が確認されたことから、今回はB系の出入口配管について肉厚測定を実施した。



2. 高電導度ドレンサンプタンク(A),(B)

- 内面目視確認において異常は確認されなかった。
- また、内面溶接線についても有意な指示模様は確認されなかった。



①高電導度ドレンサンプタンク(A)

②高電導度ドレンサンプタンク(B)

3. 機器ドレン廃液受タンク(A),(B)

- 内面目視確認において異常は確認されなかった。
- また、内面溶接線についても有意な指示模様は確認されなかった。



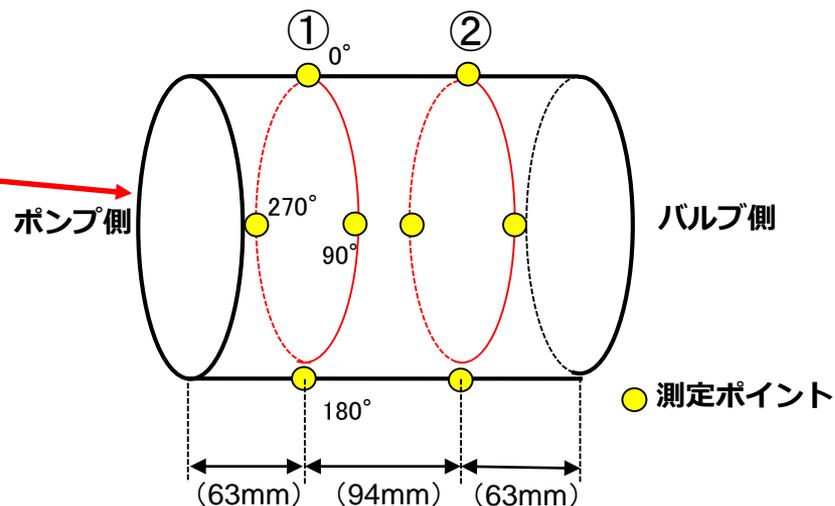
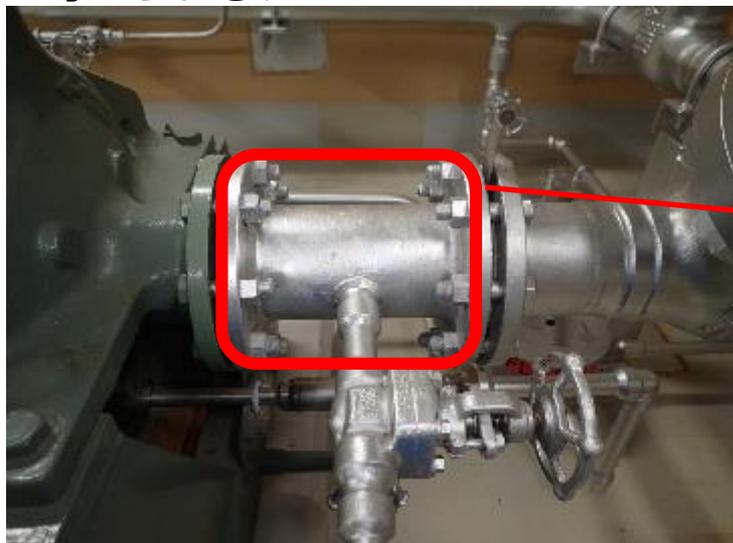
③機器ドレン廃液受タンク(A)



④機器ドレン廃液受タンク(B)

4. 機器ドレン廃液移送ポンプ(B)入口配管肉厚測定結果

- 肉厚測定結果は当該配管の設計許容範囲内であり、著しい減肉は生じていないと考えられる。

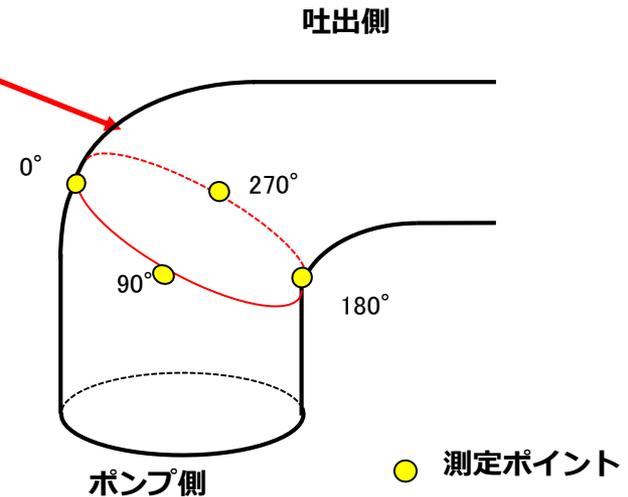


測定箇所	板厚①	板厚②	設計板厚※1 (許容範囲)
0°	5.9mm	5.9mm	6mm (5.25mm~6.75mm)
90°	5.8mm	6.1mm	
180°	6.1mm	6.0mm	
270°	6.0mm	5.9mm	

※1 JIS G3456より引用。(厚さの許容差 4mm以上 ±12.5%)

4. 機器ドレン廃液移送ポンプ(B)出口配管肉厚測定結果

- 肉厚測定結果は当該配管の設計許容範囲内であり，著しい減肉は生じていないと考えられる。



測定箇所	板厚	設計板厚※1 (許容範囲)
0°	7.9mm	7.6mm (6.65mm~8.55mm)
90°	7.8mm	
180°	7.0mm	
270°	7.6mm	

※1 JIS G3456より引用。(厚さの許容差 4mm以上 ±12.5%)

5. まとめ

- 2019年7月に高電導度ドレンサンプポンプ(A),(C)出口配管および機器ドレン廃液移送ポンプ(A),(B)入口配管の内面確認を行い, 異常がないことを確認した。
- 2019年12月に機器ドレン廃液移送ポンプ(B)出口配管および入口配管の肉厚測定を行い, 異常がないことを確認した。
- 2020年1月に高電導度ドレンサンプタンク(A),(B)および機器ドレン廃液受タンク(A),(B)内面の目視確認および溶接線の浸透探傷確認を行い, 異常のないことを確認した。
- 以上より, 共用プール廃液移送系については健全であると考える。
- なお, 共用プールからの廃液移送の際には, 引き続き, 実施計画の通りに巡視点検等を行い, 漏えいのないことを確認する。

参考. トレンチ内部確認用窓の設置

- 共用プール建屋からH T I 建屋間をつなぐP E 管のトレンチに、下記のように内部確認用の窓を計 5 箇所を設置した。

